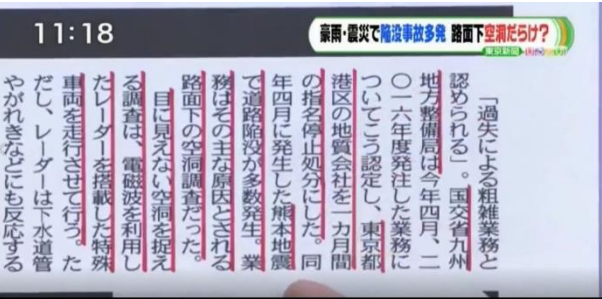




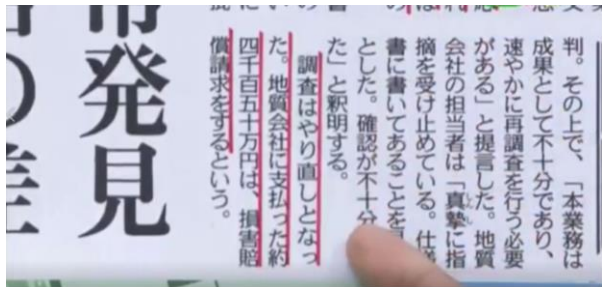
1

今日は、東京新聞こちら特報部の「道路下の空洞が大変なことになっている」という記事の紹介です。



3

記事には、「国交省九州地方整備局は、東京都港区の地質会社を一月間の指名停止処分にした。この会社が調査したところ2箇所しか空洞がないと言っていたが、他の会社に再調査を依頼すると143箇所も空洞が見つかった。」という事です。



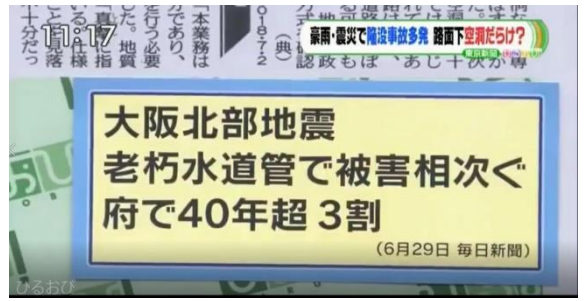
5

国交省は、この指名停止処分とした地質会社に支払った4150万円を損害賠償請求をするという。



7

東京大学の桑野玲子教授は、「こういった目に見えない空洞による道路の陥没リスクは、国道よりも市町村道の方が高い。」という事です。



2

先日発災した大阪北部地震では、水道管の老朽化で道路陥没の被害が相次ぎました。



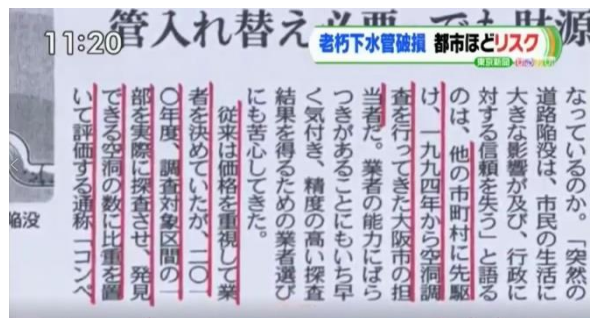
4

こちらが、143箇所空洞を見つけたスケルカです。道路の下の空洞を事前に調査できる探査車です。



6

全国の道路陥没というのが、年間3300件あります。そういう路面下の空洞をきちんと調べておかないと、いつ陥没事故がおきるかわかりません。



8

また、福岡市では、価格を重視した入札方式をしていたが、きちんと行わないといけないう事事で、コンペ方式に切り替えました。

各地方自治体は、こういった目に見えない危険は、きちんと調査してほしいなと思います。